

ヤンバルトサカヤスデの 被害・分布の拡大を防止するために

不快害虫であるヤンバルトサカヤスデは、台湾の花蓮ではじめて報告された帰化動物で、日本においては 1980 年代前半に沖縄県で大量発生が認められ、その後、鹿児島県徳之島、奄美大島、屋久島、薩摩半島南部、静岡県南部、東京都八丈島と棲息が確認されています。2005 年秋には横須賀市内で初めてヤンバルトサカヤスデの大量発生があり、夜間敷地内を徘徊し屋内にも侵入する状況が 2 ヶ月あまり続く群遊被害が発生しました。

効果的な防除、敷地内侵入を防ぐには、ヤスデの住みにくい環境を作り大量発生を抑制していくことが重要です。

【ヤスデの生態】

●棲息場所

- ・落葉の堆積した林床
- ・堆肥等のすきこまれた畑
- ・日当たりの悪い湿った場所等

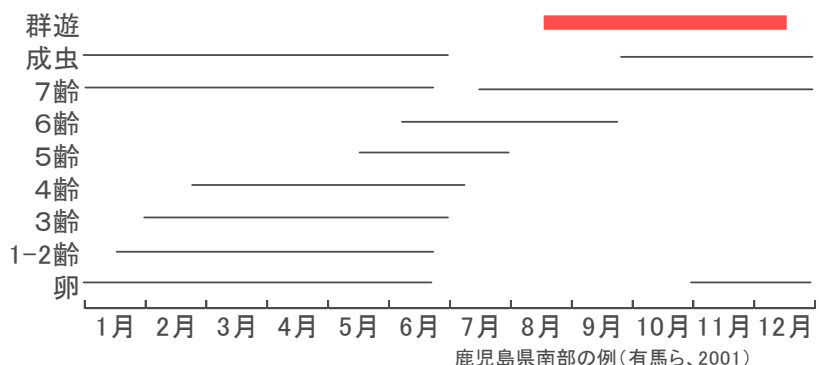


●活動

- ・昼間は落葉・朽木等の堆積した下、植木鉢等の下、石の下等に潜む
- ・群遊期の集団移動は夜間に行われ、夜 10 時ごろピークに達する

●生活史

- ・ヤンバルトサカヤスデは、卵→幼虫（1 齢～6 齢）→亜成虫（7 齢）→成虫（8 齢）と発育し、その一生は約 1 年余で終わる。10 月から 12 月には成虫の繁殖群遊が繰り返し起こり、敷地内に侵入をするようになる。
- ・雌の成虫は、1 回に 200～500 個の卵を産み、産卵回数は数回におよぶ。
- ・横須賀市の気象条件と同様な国内発生地での生活史が不明であるが、参考として鹿児島県南部での生活史は図のとおりである。



【ヤスデ被害の防止策】

●棲息環境の整備（住みにくい環境を作る）

- ・裏山（里山）の下草刈り、堆積落葉の除去をし、水はけ・日当たりを良くする。
- ・庭の除草、樹木の剪定を行い、暗く湿った場所を作らない。
- ・亜成虫から成虫に脱皮する時、体の柔らかい時期がある。この時期に土地を耕す等で、ヤスデの変形が起こり死亡する確率を高くする。

●家屋侵入の防止

- ・ツルツルした所は登れないので塀・外壁に養生テープを張る。（ヤスデ返しの効果）
- ・自然環境と居住環境との境界域に5～10cm幅で帯状に粉剤・微粒剤を散布する。
- ・田んぼの畔に用いるアゼシートの設置は侵入防止効果が高い。



●駆除方法

- ・薬剤散布（薬剤に表示されている用法・用量を守って使用してください）

※薬剤を使用する際には、使用方法や頻度によっては健康被害を引き起こす場合があります。薬剤が直接人体にかかることや、吸入しないよう注意するとともに、特に屋外で薬剤を使用する場合は、他の生物や近隣の方々にも配慮し、薬剤を使用するようにしてください。

※ヤスデは薬剤に触れてもすぐには死なず、しばらくの間移動しますが、やがては死んでしまいます。

- ・群遊期に意図的にヤスデの集まる環境を作り集めて駆除する。

●棲息域の拡大防止

棲息域からの土や堆肥の移動により、人為的に卵や幼虫が運ばれることにより棲息域が拡大したと考えられています。

- ・安易に棲息域の土や、土のついた植物を移動しない。

【ヤスデ豆知識】

- 農作物に被害を与えたり、人を刺したり咬んだりしません。
- 天敵は、土壌中のアリ、ムカデなどの可能性があるが、詳細はまだ不明です。
- 刺激したりしたとき発生する臭いには青酸ガスが含まれている。
- 落ち葉を食べ肥沃な土を作る良い側面も持っている。
- 絶滅は難しいので、大量発生させない工夫が必要です。

問い合わせ先

横須賀市保健所生活衛生課

〒238-0046 横須賀市西逸見町 1-38-11

ウェルシティ市民プラザ3階

電話 046-824-9861 FAX 046-824-2192